

スタッフのためのフリー ペーパーマガジン

まめ

Vol.4 2017.5

ゴールデンウィークも過ぎ、すっかり暖かくなってきましたね。皆さんいかがお過ごしでしょうか。ちなみに私のゴールデンウィークはただの土日でしたノ皆さんに自慢出来ることは何もありません笑

しばらくお休みしていましたが、今月から「まめ」を再開致します。楽しみにしていたそのあなたノお待たせしました笑

まめはスタッフのためのささやかなペーパーマガジンです。私たちが情熱を燃やしていること、活動の内容や福祉の情報など少しずつですが紹介出来たらいいなと思います。

普段あまり事務所に来れなくてなかなか顔を合わすことがないアルバイトスタッフの皆さん、いつもご苦勞様です。休まず働いてくれて本当にありがとうございます。

皆さんがいるから私たちがいます。会う機会は少ないかもしれませんが私たちはいつでも繋がっていると思っています。何かあったらいつでも頼ってきて下さいね。仕事のことももちろんですが、プライベートのことや趣味など色んな話が出来たらいいなと思っていますノ

すれ違う人と人との人生交差点。今、確かに出会い、ここにいる皆さんとのご縁にただただ深く感謝を申し上げて、挨拶に代えさせていただきたいと思います。

文：編集Y

ふりがえればイシュー

今回は毎週金曜日におこなっている「介助者になりたい人を見つけるアクション」についてお話しします。

■介助者になりたい人を見つけるアクションとは？

介助を使って生活をする。その介助者の担い手が少ない。そんな状況が問題となっています。低賃金・重労働などのイメージが根強く、職として選び難いという調査結果も出ています。この問題に私たちはどう向き合うか。そのひとつがこのアクションです。

■街角でのアクション

街頭や駅前に立ち、街の人々の思いに触れるところから始まります。マイクを使い、チラシやシール投票を通し、歩く人歩く人に投げかけます。

「介助の仕事のイメージは？」「介助者という仕事をやりたいと思いますか？」「あなたが介護職をしていて会社に求めるものは？」様々な思い・感覚を聞くことができます。そこでアクスの思いを伝えていきます。やりがい、そして働き続けるための私たちの実践とは。介助は恩恵やお世話ではなく生きていく為のサポートではないのか。アプローチの仕方はスタッフそれぞれですが、介助者は社会で重要な存在で、誇りある仕事だということを軸に発信していきます。

■アクションを通じて社会を

立ち止まった人と話をし、その人が持つ元々のイメージや体験と私たちとのギャップを感じてもらえるか。ここが重要です。「環境を良くしようと行動している人たちがいる」のを知り、ふと自分自身の事を顧みて貰えたら、アクションの意義はひとつ果たされています。顧みた時その人はどんな行動をするのか。働いている環境を良くしようと動く、人材を集めるためアクションに加わる、はたまたタイトル通り介助者として働き始める。形は違えど、それぞれ行動がどこかで社会に働きかけるアクションに繋がれば...いつしか社会の介助者・福祉へのイメージは変わり、介助者は市民権を得た職業になっている。そんな未来を思い描き、「介助者になりたい人を見つけるアクション」は街角にて発信し続けます。

サイドバイサイド

ハタラク人たちのよこがお。

編集Y：今回はおかもとさんです。パチパチ。今日も
キャリアゲがおしゃれに決まっていますね！

おかもと：ありがとうございます！ここ3,4年はこの髪形
でいますね。

編集Y：おかもとさんは何年目？

おかもと：もうすぐ10年目になります。

編集Y：いままで続けてきた理由はどうして？

おかもと：CILの介助が自分に合ったのだと思います。
障害者発信で生活を作り上げている姿を見て、スッと
納得して介助を行っていたのを覚えています。そして
当事者はここで働く一人ひとりだと言われた事もあります。

編集Y：この仕事の魅力はこれだ！というものって？

おかもと：社会は変えられる事を実感できる事でしょうか。「障害者の介助」
という入口から、私たちは社会のルールや制度の中で生きているのだと実感し
ました。そしてそれは受動的な権利や恩恵ではなく、足りなければ増やし間違
ってれば変える事が出来る。法改正ももちろんですが、駅にエレベーター
が付いたり、バスの運転手の対応が良くなるなど、身近な変化もこれまで感じ
てきました。

編集Y：世間ではまだまだ福祉の仕事のイメージはよくないと思うんだけど？

おかもと：仕事の内容も「悪い」ものが先行しているのではないのでしょうか。
低賃金の労働環境、他人の世話しないといけない。事実ではありますが、何
のためにこの仕事が求められているのか、その議論や共有がまだ表面上の薄
い部分でしかされていない様に思います。

編集Y：それを変えていくためには何が重要だと思っているのかな？

おかもと：まず当事者である福祉に携わる人が誇りを持ち、発信していく事だ
と思います。人が社会の一員として生きて行く。その為に必要な「福祉」「介
護・介助」と考えたらとても意義のある仕事です。その意義を果たせる環境色
んな人を巻き込み作り上げていく。そうして正当な評価が社会に浸透すると思
います。



岡本雅博さん
A型 30歳
介助者・事務職員

まいのーと

私たちからのお知らせ

□月にいちどのごえんの日。それはそれは一人ひとりがよりあるがままの
自分をあらわせるとっておきの時間。とくべつの場所で、とくべつの思いを
込めて、おいしい食事に舌つつみを。



ご縁の会

する日：6月30日（金よう）

じかん：18時～20時すぎ

ところ：洋風料理ピッコロコンパレー

おかね：2,000縁～

□介助スタッフ大募集

NPO法人えがくでは夜勤には入れる介助スタッフを急募しています。

アルバイトの方であれば兼業可。学生さんの場合、学業との両立が相談
しながらシフト調整します。

○働く時間

日勤は9時から19時。夜勤は19時から翌朝9時まで。※その他の勤務形態有
開始時間終了時間の調整はその都度相談して決めています。

働きたい！という方がいらっしゃいましたら下記の連絡先まで

075-874-7356（代表）